みやぎハイスクール通信

第５号
発行日：令和６年９月２７日
発行者：宮城県教育庁高校教育課
https://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyou/gak-mailmaga-bknum.html

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップの取組や特色ある学校行事の紹介、生徒の活躍（成果報告等）、入学を目指す皆さんへのお知らせなど、魅力的な取組に関する情報が満載です。

中学生の皆さんの進路選択に、ぜひ御活用ください。

９月号の目次

１　マナーアップの取組紹介
（１）南郷高校
２　特色ある学校行事等の紹介
（１）岩ヶ崎高校　（２）宮城第一高校　（３）泉高校　（４）宮城野高校
（５）松島高校　（６）富谷高校　（７）築館高校　（８）迫桜高校
（９）本吉響高校　（１０）東松島高校　（１１）角田高校
（１２）古川工業高校
３　生徒の活躍（活動の成果報告等）
（１）蔵王高校　（２）白石工業高校　（３）柴田高校　（４）名取高校
（５）利府高校　（６）古川高校　（７）登米総合産業高校　（８）第二工業高校
４　入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）
（１）村田高校　（２）黒川高校　（３）一迫商業高校　（４）気仙沼向洋高校

1　マナーアップの取組紹介

（1）南郷高校

〈マナー向上の取組〉

南郷高校では、生活全般におけるマナーアップを図るため、次のような活動や行事を行っています。

〇挨拶運動の実施

毎月、昇降口において生徒会役員・生活委員・教員による全校生徒への挨拶運動を実施しています。今年は、外に出て生徒だけでなく教員や保護者の方への挨拶運動も実施しています。

〇インターネット安全利用教室の実施

年に一度、遠田警察署から講師を招いて、インターネットやスマートフォンの安全な使い方やモラル・マナーの向上を図るために、インターネット安全利用教室を実施しています。

〇交通講話やバイク実技講習会の実施

年に一度、遠田警察署から講師を招いて、主に自転車安全利用についての交通講話を実施しています。また、近隣の自動車学校に依頼し、原付バイク通学者を対象に車両の点検と正しい乗り方についてバイク実技講習会を実施しています。これらの行事を通して、交通ルールの遵守やマナー向上を図っています。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://nango-h.myswan.ed.jp/

２　特色ある学校行事等の紹介

（１）岩ヶ崎高校

〈イイじゃん、イワコウ！①・・・「六日町オモシロプロジェクト」で地域交流！〉

７月１３日（土）くりこま夜市で祭型探究プロジェクトである「六日町オモシロプロジェクト」を開催しました。小児がん支援のレモネードスタンドのほか、オモシロ数学実験、チョーク作り体験など総合的な探究の時間の取組を発表しました。本校は一関第一高校有志と協働し、更に迫桜高校、佐沼高校の成果発表もあるなど高校生の力を見ていただく機会となりました。

〈イイじゃん、イワコウ！②・・・「Iwagasaki　Jimoto 大学」ってなんだ！〉

探究学習の取組のひとつの「Iwagasaki Jimoto 大学」では地域や社会の諸課題に取り組む専門家の方々をお迎えし、上級学校、民間企業、社会福祉法人、栗原市職員、地域おこし協力隊の方々が各ブースに分かれて、仕事内容や地域や社会の課題などをパネルディスカッション形式で受講します。地域の特徴や良さを知り、主体的に課題を発見し、多様な人々と協働しながら解決する力を育成します。

〈イイじゃん、イワコウ！③・・・伝統行事「健康強歩大会」！〉

健康強歩大会は４０年ほど続いている岩高伝統行事で、例年１０月に実施しています。

学校を発着点とし、周辺地域を経由する２２ｋｍのコースを各自思い思いのペースで歩きます。途中の公園で昼食を取り、ピクニックのように過ごす生徒もいれば、スタートからゴールまで黙々と走ったり歩き続けたりする生徒もいます。地域の方々からも温かい声援をいただきながらゴールした瞬間は、大きな達成感を感じることができる行事です。

今年は１０月１１日（金）に行います。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://iwagasakikou.myswan.ed.jp/

（２）宮城第一高校

〈歌合戦　-持続可能な学校行事の在り方-　〉

本校では、７月に歌合戦が開催されます。宮一４大行事の一つに数えられ、まさに自主自律の校風を象徴する行事です。歌・ダンス・美術それぞれの観点から審査を行い、総合点で順位を競いますが、歌は作詞から、背景や衣装は一から全て手作りをするというのも特徴の一つです。

今年度も、クラスごとの発表で、迫力ある歌声やアクロバティックなダンス、繊細な舞台演出など、全員が力を出し合い、世界に一つだけの素晴らしいパフォーマンスを創りあげました。順位に関係なくそれぞれのクラスにとって大きな成就感が得られ、クラスの団結力もさらに高まりました。また、様々な諸問題に生徒たちが中心となって解決をするのが宮一生です。今年度は背景の製作について大きな変更を行いました。これまでは、大きな布にペンキ塗料を使って描くことでゴミや校舎の汚れなどの発生が課題として長年挙がっていました。この課題を解決し、新校舎での行事としてどのように進めていくかをアンケート調査を実施しながら意見を集めるなど試行錯誤を重ねました。その結果、背景のデジタルデザイン化とプロジェクター投影に挑戦し、予想を上回る出来映えとなりました。デジタルデザインの良さを十分に生かしながら、新たなパフォーマンスとして歌合戦を彩ってくれました。今後とも、伝統を大切にしながら、持続可能な学校行事を目指していきたいと考えます。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://miyaichi.myswan.ed.jp/

（３）泉高校

〈２０２４年度　アメリカ短期留学生受け入れ及び英語科発表会〉

７月１日（月）～５日（金）、アメリカフェンクリーク高校から８名の留学生を迎え、英語科の生徒がバディ（相棒）となり、一緒に授業を受けたり、校外学習に出かけたりしました。校外学習では、生徒による企画・案内での松島観光や、バディが通訳補助で一緒に踊る日本舞踊体験などを行いました。

英語科の生徒が留学生と共に様々な体験をする中で、実践的英語力を高めるだけでなく、文化的な多様性を肌で感じることができた一週間でした。

８月２９日（木）、仙台市泉区の仙台銀行ホールイズミティ２１で、英語科発表会が開催されました。 この発表会では、英語科に在籍する全学年の生徒が、当日の運営から発表まで全て行いました。

生徒たちは、緊張しながらも、普段の学習の成果を発揮し、プレゼンテーション（興味を持った課題について発表）、スキット（劇）、ディベート（あるテーマに関して賛成派、反対派に分かれて討論）等の英語のパフォーマンスを行いました。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://izumihigh.myswan.ed.jp/

（４）宮城野高校

〈ゼミフェス（探究発表会）〉

本校で実施している「未来構想ゼミナール（探究活動）」（以降ゼミ）は、生徒一人一人の興味・関心に応じて各々が主体的に活動できるように４系統 12 分野に分かれて講座が開設されています。そしてこの度、８月２９日（木）に、活動の集大成となるゼミフェス（探究発表会）を開催しました。私たちが「ゼミフェス」と呼ぶように、発表の形態はそれぞれのゼミが工夫を凝らして特色を出せるように、極力縛りを外すようにしました。ポスター発表をするゼミ、パワーポイントで発表するゼミ、作品を展示して解説するゼミ、音楽を演奏するゼミ、演劇を披露するゼミというように、様々なスタイルで自分たちが探究活動を通して得た学びを視聴者に伝えようと努めていました。

また、仙台二華高校、仙台第三高校、仙台向山高校の生徒を招待して、大講義室でたくさんの本校生を前に研究発表をしていただきました。本校生は、他校の優れた研究発表から今後研究を進めていくにあたっての大きな刺激を受けたはずです。本校生の多様なテーマと表現方法も他校生に何らかの刺激となれば幸いと考えており、交流が宮城県の高校生の探究活動をより活性化していくものと期待しています。

今回のゼミフェスには、外部からお招きした５名の講師の他、これまでの活動でお世話になった方々、県内高等学校の先生方、保護者など多くの方々に参観していただきました。これからも多様な観点から御意見を承り、より一層本校の教育活動を発展させていければと思います。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
http://miyagino.myswan.ed.jp/

（５）松島高校

〈ホテル実習（観光科２年生）が実施されました〉

令和６年７月２６日（金）から８月６日（火）までの２週間、松島・秋保・遠刈田・鳴子・南三陸各地の事業所様に御協力をいただき、本校観光科第２学年の生徒が、ホテル実習を行いました。

宿泊を伴い、実際のフロント係や客室係の基本的な業務の体験学習を通して、お客様に対しての接遇や、おもてなしの心、立ち振る舞いを学ぶことによって、宿泊産業の魅力を肌で感じ、その魅力を多くの観光客に発信し、地域に貢献できる生徒の育成を目指します。

生徒からは、「初めは緊張してしまい、接客や挨拶が苦手でしたが、実習が進むにつれて教えられたこと以外にもお客様を気遣った声掛けなどができるようになりました。お客様から直接お褒めの言葉をいただいた時は、本当に嬉しかったです」「この実習は多くの方の協力があって成り立っているので、感謝の心を忘れず、自分たちの成長した姿で恩返ししていきたいです」と話していました。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://matsushima-h.myswan.ed.jp/

（6）富谷高校

〈「持続可能な地域とまちづくり」研修ツアー〉

富谷高校２学年は総合的な探究の時間において、「持続可能な地域とまちづくり」をテーマに、地域の課題を探究する課題研究を行います。そのスタートアップ企画として、９月５日（木）に研修ツアーが実施されました。私たちの地域にはどのような課題があり、それらに対して自治体や大学、企業等がどのように取り組んでいるかを知る貴重な機会となりました。クラス毎に研修地を２か所訪問し、講話や見学だけではなくワークショップ等にも取り組みました。

富谷高校は今後も地域や大学と連携した学びの実践を通して、生徒の探究的資質の向上を目指していきます。生徒の感想（行き先）の一部を紹介します。

○　地域の復興や過疎化の問題について考えてみて、地域や町の人とつながりを持つのは大切なことだと分かりました。「地域の輪」の重要性について理解することができました。（宮城大学）

○　米が各家庭に届くまでの過程を学ぶことができ、貴重な体験になりました。主食である米を安定的に流通させるために、多くの人の努力があることを知り、食に対する見方が変わりました。また、宮城県産の米の他に、西日本側の米も食べてみたいと思いました。（ナカリ株式会社）

○　一番衝撃だったのは、「ふうどばんく東北AGAIN」で活動している方々は「ありがとう」という言葉のために無償で活動しているということでした。この活動だけに限らず、私も誰か人のために無償で行動できる人になりたいと思いました。また、身近に存在する貧困の問題について、さらに調べたいと思いました。（ふうどばんく東北AGAIN）

＜学校HP内の課題研究紹介ページはこちらです＞

https://tomiya-h.myswan.ed.jp/page_20221128030439

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://tomiya-h.myswan.ed.jp/

（７）築館高校

〈日本一住みやすい街「くりはら」プロジェクト【総合的な探究の時間】〉

築館高校では、総合的な探究の時間のメインテーマとして「日本一住みやすい街『くりはら』プロジェクト」と称し、生徒自身が地域課題を発見し市長や市議会議員に解決策を提言することを目的とする探究活動を実施しています。これは、築高が生徒全員に推奨しているボランティア活動［地域貢献プロジェクト］と根を同じくする取組です。栗原市は県内でも人口減少・高齢化の著しい地域です。この活動には、そのような土地だからこそ、鋭い感性とユニークな視点を持つ高校生が市の発展に貢献し、地元愛を深めてほしいという願いが込められています。

「くりはらプロジェクト」は、１年次の探究メソッド学習を皮切りに、３年次の「なりたい自分宣言」で完結する長期間の活動ですが、生徒たちはチームを作り、楽しみながら郷土の探究に取り組んでいます。地元の多くの方々と交流し、時に支援をいただく経験が生徒たちの心に大きな変化を与え、郷土愛を再確認するきっかけにもなっているようです。また、この探究活動での発見や気づき、地域の方々との出会いなどから自らの職業を決定したり、進学先・学問分野を決定したりする生徒も少なくありません。

フィールドワークの様子（２年生１０月県内の様々な施設や事業所などを訪問）

探究成果発表会（２年生３月　市長・市議会議員の方々へのプレゼンテーション）

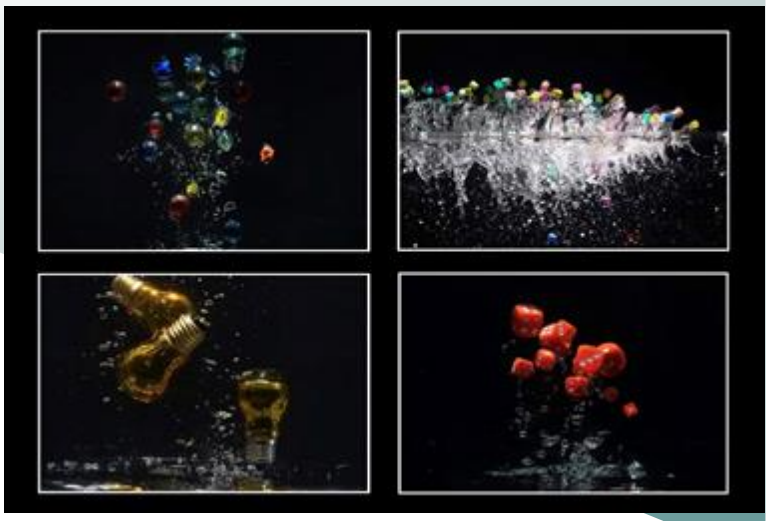
〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://tukiko.myswan.ed.jp

（8）迫桜高校

〈写真部の活動〉

本校写真部は７月31日（水）～8月5日（月）に岐阜県で開催された第48回全国高等学校総合文化祭（清流の国ぎふ総文2024）に出場しました。全国総文祭に出場するのは７年連続となり、５年連続の入賞を果たせるよう、生徒たちは日々作品作りに励んできました。今年度は３年菅原陽菜さんが宮城県代表として参加しました。その結果、菅原陽菜さんの作品「反抗期」が全国６位となる優秀賞を受賞することができました。



菅原陽菜　「反抗期」

今大会に参加した菅原陽菜さんは、「今大会に参加して全国レベルの作品を鑑賞したり、他県の生徒達と交流することで多くのことを学ぶことができました。写真部として８年連続の全国総文祭出場ができるよう、今回の経験を後輩の育成に活かしていきたいと思います。」と話していました。

今後も文化祭や写真展を通し、作品を公開していきます。また、未来の迫桜高校写真部への入部をお待ちしています。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://hakuou.myswan.ed.jp/

（9）本吉響高校

〈地域に響け！！私達の想い〉

「総合的な探究の時間（福祉）」では、４年前より同じ本吉町内で運営されている「子ども食堂」（あそびーばー）へ向けた募金活動を校内にて行い、支援しています。活動は、夏季休業中を除き毎月実施、生徒、教職員から協力をいただき、これまでに約１７万円を支援してきました。また、災害時にも募金活動を行い、これまでに能登地震、台湾地震へも義援金を届けてきました。

それ以外の活動としては、募金活動ができない夏季休業中に複数回ボランティアとして「子ども食堂」の行事へ参加し、スタッフの手伝いや、子ども達の見守り活動を行っています。また、自宅で不要になった生活用品や衣服等も協力いただき、届ける活動もしています。昨今、子ども達を取り巻く環境も変化し、今後益々「子ども食堂」が担う役割も大きくなってくると感じています。「子ども食堂」は子どもだけに限らず、地域の高齢者や障がい者等も含めたコミュニティの役割も果たしているため、今後も地域になくてはならない存在だと考えています。地域に「子ども食堂」が存在する限り、今後も私達ができる支援をしていきたいと思います。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://hibiki-h.myswan.ed.jp/

（１０）東松島高校

〈今年も開催しました！！演劇特別授業〉

本校では開校以来「演劇特別授業」を夏季休業中に実施しています。プロの劇団員に指導していただき、演劇を学び、仲間とひとつの作品を創りあげていくことを通して自己表現力やコミュニケーション力を身に付けていくことを目的にしています。

東京演劇アンサンブルの役者４名を講師に迎え、７月２２日（月）から７月２５日（木）の４日間稽古し、授業最終日には公演が行われました。今年の演目は昨年度と同じ「宇宙のなかの熊」。今年は熱中症予防の観点から、学校近くの施設を借りて立派なステージで演技を披露することができました。

「演劇特別授業」を受講した生徒からは、講師の指導を受け、生徒同士の関わりを通して自分自身の成長を実感できたという声が多く寄せられました。

≪オープンキャンパスのお知らせ≫

来る１０月１９日（土）に東松祭（文化祭）が行われます。本校での活動の様子を御覧いただき、高校生活をイメージしてもらえたらと思います。詳細は HP を参照してください。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://higashi - matsushima.myswan.ed.jp/

宮城県東松島高等学校HP

ひがまつさん（本校卒業生作）

（１１）角田高校

〈角高祭が開催されました〉

８月３０日（金）、３１日（土）に角高祭が開催されました。文化部のステージ発表や展示発表に加え、今年度は１～３年次の全クラスが工夫を凝らした模擬店を企画し、一般公開日は５００人を超える来場者で賑わいました。

★１０月１５日（火）９：３０～１２：００に秋のオープンスクールを開催します。詳しくは学校ホームページを御覧ください★

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://kakuko.myswan.ed.jp /

（１２）古川工業高校

〈土木情報科、化学技術科の特色ある授業を紹介します。〉

化学技術科３年生の総合実習の様子です。実習では、DNA 電気泳動を用いて米の品種判別を行いました。無菌室で準備したアガロースゲルを、暗室に運んで反応しているかを観察しました。準備に時間がかかりましたが、無事に反応したようで実験成功のようでした。

土木情報科３年生の希望者を対象に、小型車両系建設機械運転特別教育が行われました。１日目は座学で、小型車両系建設機械の構造や操作、注意事項について講義をいただき、２日目はピロティにて実際に建設機械を操縦して、現場で使われる動きや操作について学びました。これからの土木業界を担う生徒たちには、今回の講習をぜひ進路活動やその先に生かしてほしいです。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://furukk-h.myswan.ed.jp/

３　生徒の活躍（活動の成果報告等）

（１）蔵王高校

〈各部・生徒会のボランティア活動〉

本校では部活動や生徒会が中心となって、地域の老人ホームや福祉施設、蔵王町の行事等にボランティアとして参加しています。外部の方々と活動する際には、高校生としてのあるべき姿が問われることになり、生徒一人一人の日々の取組が映し出されます。

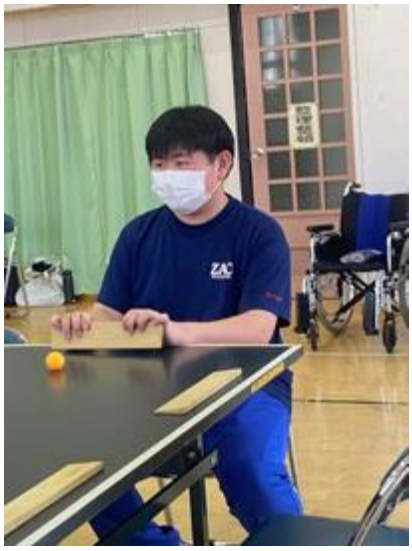
具体的には、卓球部と生徒会の生徒たちが、蔵王町の刈田嶺神社で行われる祭事の手伝いとして運営の補助をしたり、実際に獅子舞を演じたりするなど様々な場面で活躍しました。

また、JRC 部では、白石市社会福祉協議会主催の障害者スポーツ体験会に参加し障害者スポーツの体験学習を行いました。さらに、夏休みには JRC 部と茶道部の生徒たちが合同で特別養護老人ホームざおうの杜にて開催された夏祭りのボランティアに参加し、スイカ割りコーナーの手伝いや蔵王高校手芸部の作品販売、蔵王高校茶道部のお茶会運営の手伝いをしました。

刈田嶺神社ボランティアの様子

JRC 部・茶道部夏祭りボランティア

JRC 部障害者スポーツ体験



〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://zao-h.myswan.ed.jp/

（２）白石工業高校

〈絆深まる体育大会〉

宮城県白石工業高等学校では、機械科・電気科・建築科・工業化学科・設備工業科の５つの学科を有しています。私たちは普通科目に加えて専門科目を学習し、自身の目標に向かって日々勉学に励んでいます。

そんな私たちの学校では、６月２７日（木）・２８日（金）にかけて、体育大会が開催され、クラス対抗で熱い戦いが繰り広げられました。クラスＴシャツを着てクラスの団結力も深まり、クラスメイトを一生懸命応援する様子からは生徒同士の絆を感じました。学年・学科の垣根を越えて正々堂々戦ったこの２日間は白工生にとって、かけがえのないものになったと思います。

また、１０月には文化祭が予定されています。私たちの絆や団結力はもちろん学校の魅力を存分に感じる事ができる行事となっています。皆さんも是非お越しください！

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/

（３）柴田高校

〈柴高生　全国の舞台で活躍〉

７～８月に開催された各種全国大会に、陸上競技部、ウエイトリフティング部、柔道部が出場しました。主な大会結果は次の通りです。

〇陸上競技部

第７７回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

男子２００m、砲丸投、円盤投、ハンマー投　出場

女子ハンマー投　出場

〇ウエイトリフティング部

第３回全国高校女子競技大会

女子４９kg 級　５位入賞

女子５９kg 級　５位入賞

女子７１kg 級　４位入賞

第２６回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会

女子４９kg 級　６位入賞

女子５９kg 級　５位入賞

女子７１kg 級　４位入賞（スナッチ３位）

第７１回全国高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会

男子５５kg 級、７３kg 級、８１kg 級、９６kg 級　出場

〇柔道部

第７３回全国高等学校柔道大会

男子６０kg 級　出場

女子５７kg 級　出場

暑さが厳しい中での大会でしたが、多くの生徒が全国の舞台へ出場しました。今年度は本校より３名が全国大会で入賞するという快挙を成し遂げました。そして、入賞が叶わなかった生徒も日頃の成果を発揮すべく、力の限りを尽くしました。

１０月５日（土）に行われる「第２回オープンキャンパス（体育科）」では、実際に体育科専攻実技種目を体験することができます。加えて、今年度最後のオープンキャンパス（入試相談会）は、１１月２日（土）に行われます。ぜひお越しください。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://sibata.myswan.ed.jp

（４）名取高校

〈新体操部〉

私たち新体操部は、８月６日（火）～７日（水）に福岡県北九州市で開催されたインターハイに出場しました。個人では、豊島渉さん（１年）が出場しました。初めての大舞台での演技ということもあり、緊張からかミスが目立ってしまったのですが、この経験を今後に生かしていきたいと思います。

団体は、選手の５人中４人が高校から新体操を始めたメンバーでしたが、常に本番を意識した練習をしてきた成果が実り、持てる力を全て出し切ることができ、満足のいく内容の演技を披露することができました。

これからは新人大会に向けての練習になりますが、メンバーが変わらないことからこれまで以上に結果にこだわって名取高校らしい演技に磨きをかけていきます。応援よろしくお願いいたします。

【結果】

・個人総合　第３１位　豊島　渉（１年）

・団体　　第１４位

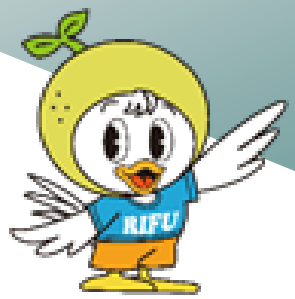
〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://natori-h.myswan.ed.jp

（5）利府高校

〈学校紹介〉

本校は「さわやか　利府高」を合言葉に、いつも笑顔があふれ、元気なあいさつが飛び交う活気に満ちた学校です。質の高い文武両道を目指し、日々諸活動に励んでいます。



≪普通科≫

必修科目のほかに多くの選択科目が開設されており、じっくりと学習に取り組める教育課程となっています。週末課題や各種課外講習などを通して「自立する学習者」を目指し、個々の目標達成をサポートしています。また、部活動では、スポーツ科学科の生徒と共に全国の舞台で活躍しています。

≪スポーツ科学科≫

スポーツを科学的に分析し、競技力向上に向けた高度な技能や生涯スポーツに必要な基礎知識を学ぶだけでなく、「スポーツ経験を社会で活かせる人間の育成」を目指し、専門的な教育活動を展開しています。また、外部講師による授業では、より専門性の高い、最先端のスポーツを学ぶことができます。

≪部活動≫

利府高校は部活動が大変盛んな学校で、運動部・文化部ともに素晴らしい成績を残しています。今年度も各種大会・選手権・コンクールなどへの参加が予定されています。利府高校生のますますの活躍に御注目ください。

さらに、本校では部活動が大好きな中学生を対象に『部活動支援プロジェクト』と称し、講習会や合同練習会を開催しています。県内の中学生のみなさん、利府高校生と一緒に活動してみませんか？詳しくは本校ＨＰを御覧ください。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

http：//rifu-h.myswan.ed.jp/

（6）古川高校

古高祭　ステージ発表（令和６年度）

〈「古高の祭り」と部活動〉

昨年度より一切の制限をなくして実施された古高祭。盛り上がり方にも慣れてきた古高生、本領発揮です。昨年度のノウハウを活かし、コロナ禍以前をも大きく超えた盛大な古高祭となりました。

今年度の古高祭は、ここ数年続く古高祭オリジナルグッズの販売、ステージ発表の「クラスパフォーマンス」では、ほぼ全校生徒が参加しての生パフォーマンスとなり、大変な盛り上がりとなりました。実行委員は例年通り当日まで大忙しでしたが、「コロナ禍以前」を目指しながらも全く新しい形式の「全員参加型古高祭」を完成させることができました。昨年度のうちから準備を始めた実行委員会。段取りもすばらしく、珍しく全くクレームのない古高祭となりました。ただ、小学生対象の学校説明会ブースを盛り上げることが、来年度への課題となりそうです。

今年度の古高は、県総体や上部大会において活躍することができました。

ソフトボール部男子は久しぶりに県で優勝し、北九州インターハイへの出場を果たしました。長崎の地でも１勝を挙げています。陸上競技部は男子の三段跳び、女子の走り高跳びで東北大会上位入賞を果たし、インターハイの切符を勝ちとりました。現在は、各運動部が地区新人大会、県新人大会での入賞を目指し、日々活動に励んでいるところです。

文化部も健闘が目立ち、文芸部が東北･北海道大会に出場しています。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://furuko.myswan.ed.jp/

（７）登米総合産業高校

〈全国の舞台で活躍　登米総生〉

今年度も多くの生徒が県内の予選大会を勝ち抜き、全国大会に出場しています。

商業部の生徒が、ビジネス計算競技（珠算の部）で全国大会（７月神奈川県横浜市）へ出場しました。全国大会の場で自分の力を発揮することができました。

福祉科の生徒が７月に行われた東北地区介護技術コンテストで優勝して全国大会（１０月栃木県宇都宮市）に出場することになりました。現在、全国大会での上位入賞を目指して、様々な課題に取り組み、介護技術力を高めています。

農業科の生徒が農業クラブ家畜審査競技会（乳用牛の部）の全国大会（１０月岩手県岩手郡葛巻町）に出場することになりました。

現在、生徒は乳牛の各部位をよく見て審査する力を高める練習に取り組んでいます。これらの生徒をはじめ多くの生徒たちが各種大会に出場して活躍しています。詳しくは本校のホームページを御覧ください。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://tomesou.myswan.ed.jp/

（８）第二工業高校

〈資格取得にチャレンジ！〉

宮城県第二工業高校（宮二工）は、「電子機械科」と「電気科」の２学科からなる夜間定時制工業高校です。両学科とも、専門科目の勉強や実習を中心に学び、さらに様々な資格取得を推奨しており、多くの生徒が卒業までに複数の資格を取得しています。

電気科は経済産業省から電気工事士養成施設の指定を受けています。これは、国家試験を受験しなくても、本校の養成講座を修了することで卒業時に「第二種電気工事士」の資格を取得できる制度です。養成講座の修了には通常の授業時間以外に決められた時間の実習を行うことが必要になるため、放課後や長期休業期間などを利用して計画的に養成講座を実施しています。また、電気工事士の国家試験の受験希望者には、筆記・実技において、教員が丁寧でわかりやすい指導を重ね、抜群の合格実績をあげています。

７月下旬には「クラフトマン２１事業」によるものづくり実践支援として、平間電設（株）（白石市）代表取締役の平間常吉様より４日間にわたる実技指導をしていただきました。この講座で電気工事の実践的な技術や作業上のポイントなどについて直接学ぶことができ、受講した生徒は意欲的かつ真剣に取り組むことができました。専門性を生かした就職や資格取得に挑戦したいと思う中学生の皆さんは、ぜひ宮二工への進学を考えてみてください。

なお、中学生を対象とした「学校見学会」を１１月１２日（火）に開催します。こちらもぜひ参加してみてください！

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://m2k.myswan.ed.jp

４　入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）

（１）村田高校

〈令和６年度　村高祭『For memorable days』～思い出に残る日々に～〉

【 村田高校は、主体的に考えて行動できる力を持ち、自らの夢や希望の実現を図れる生徒を育成しています 】

村田高校の今年度の文化祭『村高祭』のテーマは「『For memorable days』～思い出に残る日々に～」と決まりました。

昨年度の村高祭は４年ぶりに制限のない通常どおりの一般公開となり、地域の方々をはじめ多くの方に足を運んでいただいて、大変盛況のうちに終えることができました。今年度も更に盛り上げていけるように、現在準備を進めているところです。ぜひたくさんの皆様に御来校いただき、村高生の文化活動を表現する展示・発表・販売等の活躍を御覧になっていただきたいと思います。

『村高祭』一般公開

日程　　１０月１９日（土）　　９：３０～１３：１５

会場　　宮城県村田高等学校　［柴田郡村田町大字村田字金谷１番地］

【 ＪＲ「大河原駅」からミヤコーバス川崎行き「村田南町」下車　徒歩５分 】

昨年の「村高祭」から

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://murata-h.myswan.ed.jp

（２）黒川高校

〈工業科と普通科のハイブリッド・スクール〉

本校は、明治３４（1901）年に黒川農学校として開校し、今年で創立１２４年目を迎える歴史と地域とともに歩み続けている伝統のある高校です。学科構成は、普通科及び機械科・電子工学科・環境技術科の４学科からなる、全国的にも例の少ない“普通科と工業系学科のハイブリッド・スクール”となっています。工業系３学科は、充実した施設・設備のもと、実習や課題研究を中心としたより実践的な学習をすることができ、「ものづくり」をキーワードに専門的な知識・技能を身に付けた、社会に貢献できる人材を育成しています。資格取得に挑戦する意欲的な生徒も多く、様々なコンテストにも出場しています。普通科は一人ひとりの個性を伸ばし、基礎的な学力と表現力、豊かな想像力を身に付けることで、大学進学から就職まで多様な進路に対応できる学習に力を入れています。

学校の近隣には、国際的な企業が数多く進出している仙台北部中核工業団地が控えており、地域産業の人材育成のために、キャリア教育を充実させ、個に応じたきめ細やかな進路指導に努めています。

中学生の皆さん、多様な学びと経験ができる黒川高校で自分の夢をみつけ、その実現に向けてともに成長していきましょう！

１０月２６日（土）文化祭一般公開および１１月９日（土）学校説明会を予定しております。詳細は、ホームページにて御確認ください。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://kurokawa.myswan.ed.jp

（３）一迫商業高校

〈「学びたい！」がココにある　～地域に学び・地域を創る人財の育成～〉

本校は令和７年度入学生より『築館高校一迫商業キャンパス情報ビジネス科』として新たにスタートします。栗原をフィールドワークとし、地域の課題や魅力を情報の力を創造・活用し、そして発信していきます。これまで20 年続いてきた「栗原版デュアルシステム」は継承され、さらに地域と連携をしながら学習をすすめていきます。学ぶことが楽しくなる学校です。

一迫商業キャンパスの特色

ＩＣＴ利活用能力の向上

- 新たなＩＣＴ（情報通信技術）社会に対応する基礎を身に付け、利活用能力を向上させ、情報発信能力を身に付けます。
- 静止画や動画を作成・編集する技術を学び、インターネットで活用する方法を学びます。

地域の課題を探り 魅力を発信

- 地域の課題を高校生の目線で探り、解決にむけて取り組みます。また、新たな地域の魅力を発見し、情報スキルを活用し、あらゆる媒体で発信する技法を学びます。
- 地域の観光資源や伝統を発見し、それを活用した賑わう「まち」を目指す思考を身に付けます。

地域との協働した学び

- 栗原版デュアルシステム（※）により、地域にも学びの場を広げ、実践的な学びに取り組むことにより、起業家感覚や経営感覚を身に付けます。
- 様々な地域課題へのアプローチの手法について学び、地域に貢献できる人財を育成します。

（※）デュアルシステムとは企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせて実施することにより高校生を一人前の職業人に育てる仕組みのことです。　一商は**『販売実習』『企業実習』『起業家研究』**の３班に分かれ、平成１７年度より取り組んでいます。

資格取得に向けたサポート

- 資格取得に向けたサポートを行い、 就職や進学で役立つ基礎的・基本的な知識・技術の習得に繋げます。生徒個々に合わせた指導体制により、基礎的な知識の習得や学ぶ意欲を育てます。
- 教員による丁寧なサポートにより、県内随一の資格取得実績の継続を目指します。

〈学習する商業科目〉

ビジネス基礎・簿記・情報処理・プログラミング・ソフトウエア活用・ＣＧ制作演習（仮）・観光ビジネス・総合実践・ネットワーク活用・課題研究

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://ichisho.myswan.ed.jp/

（4）気仙沼向洋高校

〈新時代の産業を担う若者が学び、飛び立つ！〉

本校は、専門（水産・工業）学校として今に続く歴史と伝統のある学校です。卒業後は専門性を生かし、県内外で活躍する人材を数多く輩出しています。

〈情報海洋科〉～海洋・情報電子類型～

海洋では海・船・魚について授業や実習を通して総合的に学びます。情報電子では電気・電子の分野を生かしながら情報通信を学びます。

〈産業経済科〉～フードサイエンス・ビジネス類型～

フードサイエンスでは「フードデザイン」を学び、食に関する科学的な知識を深めていきます。フードビジネスでは「財務会計」を学び、ビジネスについて知識を深めていきます。

〈機械技術科〉～生産技術・情報技術類型～

類型に関係なく資格取得に力を入れています。生産技術では材料の成り立ちや加工・管理技術を学びます。情報技術では AI や IoT、プログラミングについて探求をしていきます。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://kkouyo-h.myswan.ed.jp/